

報道機関 各位

令和 8（2026）年 9 月 1 6 日

北見工業大学

**ホタテ貝殻とフライアッシュを活用した「環境配慮型コンクリート補修材」の
実証試験を北見工業大学キャンパス内で開始いたします（ご案内）**

～ 地域資源と産業副産物を有効活用し、インフラ長寿命化と脱炭素に貢献 ～

本学は、小泉製麻株式会社様（発明企業／本社：神戸市灘区新在家南町 1－2－1、代表取締役社長 小泉 康史）との共同研究講座（オプティマスリソース共同研究講座／研究代表者：機械電気系 大野智也 教授）において、未利用のホタテ貝殻粉末およびフライアッシュ（石炭灰）を原料とする新しいコンクリート補修材を開発いたしました。

すでにコンクリート供試体による補修効果の実証（※）を完了しておりますが、このたび実際の屋外コンクリート構造物（本学外周擁壁）における施工性や外観の経年変化等を検証するため、実証試験を開始いたします。

つきましては、下記にて施工および取材対応を実施いたしますので、ぜひご取材賜りますようご案内申し上げます。

なお、ご取材いただけます際には、10月2日（金）正午までに、下記問い合わせ先までご連絡いただきますようお願いいたします。

※ 令和 7 年度中小企業政策推進事業費補助金（成長型中小企業等研究開発支援事業：Go-Tech 事業）実績報告書にて北海道経済産業局長へ報告済。

記

【本技術の特徴と社会的背景】

・地域資源・産業副産物の有効利用：

水産加工副産物であるホタテ貝殻（水酸化カルシウム源）と、フライアッシュ（ケイ素・アルミニウム源）の複合利用。

・環境負担の軽減とインフラ維持：

老朽化するコンクリート構造物の長寿命化を低コストかつ環境配慮型の材料で実現。

・炭酸ナノバブル水による養生：

塗布後に炭酸ナノバブル水を噴霧・養生することで、補修層の緻密化・高耐久化を図る新技術を採用。

【コンクリート補修材 実証試験・取材案内】

1. 施工・実証期間

令和8年（2026年）10月4日（日）～10月6日（火）（3日間）

2. 取材対応日時（研究代表者コメント・施工現場公開）

令和8年（2026年）10月6日（火） 10:00～

対応者：北見工業大学 機械電気系 大野 智也 教授

※施工中の現場撮影、研究代表者への質疑応答が可能です。

※雨天・荒天時は、別会場（屋内）にてご案内いたします。

3. 施工予定場所

北見工業大学 キャンパス外周擁壁（交差点に面したL字ブロック箇所）

※添付資料の「施工予定場所（写真・地図）」をご参照ください。

施工箇所には目印のパネルを設置いたします。

4. 取材のお申し込み方法

取材をご希望される報道機関様は、10月2日（金）正午までに、下記お問合せ先（電話またはE-mail）へご連絡いただきますようお願い申し上げます。

【本件に関するお問合せ・取材お申し込み先】

北見工業大学 研究協力課 地域連携係（担当：松沼）

〒090-8507 北海道北見市公園町 165 番地

TEL：0157-26-9157 E-mail：kenyu11@desk.kitami-it.ac.jp

※添付のキャンパスマップおよび施工箇所写真も合わせてご参照ください。

【別図】



【添付写真】



左端より 1m 程度を使用予定